



対岸から内山下と川端町を望む

# せらみ

## 八十八 内山下

高梁に「内山下」という町名があります。臥牛山の南西麓で、御根小屋跡（現・高梁高）の西麓に位置し江戸時代惣門のあった広小路の出入口を入ると道が北の八重籬神社へ向かって通る町通りを「内山下」と呼んでいます。江戸時代までは「本丁」と呼ばれていた町通りですが、明治になって「内山下」と町名が変わっています。以前は松山城下町のうちで最も奥（北）に位置する場所、池田長幸が元和三年（一六一七）に入部

して、川端丁とともにこの地に家老格など藩の重臣を住ませ、町の入り口に番所を置き惣門、北門（黒御門）、西門、南門の四カ所の門によって外部と遮断し、重臣の屋敷町として、また城下町の重要地として取り立てた場所でした。この地は江戸時代以前の三村氏の時代から、臥牛山頂の松山城、その麓にあった城主の居館（御殿）の麓にあって、当時から公用化されていて、小規模な戦国型の城下町が形成されていたと考えられています。居館は三村氏の天正三年（一五七五）の備中兵乱のとき焼失しています（中国兵乱記）。その後、小堀政一（作助）は慶長二年（一六〇六）から同一五年（一六一〇）にかけて、政務を執る場所として戦火で焼失していた陣屋を造営して「御下屋敷御用のため請取もうす粉（薄くそいだ板）のこと」（岡山県史）岸本家文書）などと記録があります。当時は下屋敷と呼んでいたことが分かります。その後、水谷勝宗が大規模に御根小屋を造営しています。「御根小屋」という名称は、関東の豪族屋敷のあった集落地名で、背後の山や丘に山城があつて、その麓に豪族の館があり、付近に名子などの

農民が集住した地域に「根古屋」という集落が残っています。関東から城主としてこの地に入部して来た水谷の頃から「根小屋」と呼ぶようになったといわれています。また、松府城とか御城、御殿ともいわれる時もあったのです。このように内山下地域には、城主の日常の屋敷兼政庁があつて、「内山下」や「川端丁」は、松山城下の最初にできた町（地域）で、ここを起点として江戸時代の「内町外町型」の城下町が南へと広がって行ったのです。また「内山下」（本丁）には、延享三年（一七四六）に藩士の子弟教育のための学問所が置かれていましたが、後に有終館と改め、天保三年（一八三二）の大火で焼失したため、中之丁に移されました。山田方谷や三島中洲、川田甕江、進鴻溪などが学び、有名な漢学者達を輩出しています。現在でも「内山下」の町筋には、当時の武家屋敷の石垣が残っていて、公用化されていた城下町の最も奥地であり、城下町の発展が「郭内専土型」から「内町外町型」へと移り変わったことが分かるのです。「内山下」の北の端にある八重籬神社は、寛政三年（一七九二）創建されて、板倉勝重、重宗を祭神とした神社で、城下町北の端の

鎮めとして鎮座しています。「内山下」の地名は、岡山市や津山市など中・四国地方に多く、城下町全体を「城」と考えると、山上の城を「本丸」、その麓の領主の館や武家屋敷のある「山下」は「二の丸」にあたるところで、城下町では最も重要な地域で、「城下」と同じ意味を表し、「城堅固」を旨とした時代のもので、高梁の「山下」地名は、この地の最後の戦国大名といわれた三村氏の頃から「山下の家を焼き小屋を破り…」とあり、山麓に武士の家や民家が混在していたらしく、城下町の出来始め頃の「山下」（城下）が想像できる地名なのです。（文・松前俊洋さん）



内山下通りと武家屋敷跡の石垣

# “2013オープンキャンパス開催” ～希望の学科・専攻を1日で体験できる絶好のチャンス～



2013年度の吉備国際大学、吉備国際大学短期大学部、順正高等看護福祉専門学校のオープンキャンパスに参加してみませんか？  
受験生にとっては、将来を決める大事な選択をせまられるこの時期、自ら参加して学生生活の一端を体験してみてください。  
また、受験生だけでなく、高校1、2年生や社会人の進学希望者はもちろんのこと、保護者の方もぜひ一緒に参加してみてください。  
教職員一同、皆さんの参加を心よりお待ちしております。



会場：大学、専門学校…『高梁キャンパス』（高梁市伊賀町8）  
短期大学部…『岡山駅前キャンパス』（岡山市北区岩田町2-5）

オープンキャンパス	ミニオープンキャンパス
開催日時 7月21日(日)、8月24日(土)、9月22日(日) 大学・短大部：午後1時～午後4時 専門学校：午前11時30分～午後4時	開催日時 ※参加申し込みが必要です 5月26日(日)、6月15日(土)、11月17日(日)、 12月21日(土)、平成26年2月16日(日) 午後1時30分～午後3時30分
当日はキャンパスツアー、学科紹介、ミニ講義、入試相談、AO面談、在学生コーナー、学食体験、保護者相談コーナーなどを実施。 その他、備中高梁駅から無料送迎バスを随時運行	当日は学科説明、入試相談、AO面談などを実施 ※専門学校は5月26日、12月21日、2月16日は介護福祉学科のみの開催です。 ※入試広報室へお電話にて参加をお申込みください。

その他、吉備国際大学地域創成農学部（南あわじ志知キャンパス）は、7/20(土)、8/25(日)、9/28(土)の開催です。  
また、10/13(日)午後1時30分～3時30分、岡山駅前キャンパスで「大学院説明会」と「短期大学部ミニオープンキャンパス」を開催します。

■問い合わせ 順正学園 入試広報室 ☎0120-25-9944

## 成羽病院通信

■問い合わせ ☎423111

### 胃がんとピロリ菌のお話

日本ヘリコバクター学会  
H. pylori (ピロリ菌) 感染症認定医

院長 紙谷晋吾



皆さんはヨーグルトのテレビコマーシャルなどでピロリ菌という細菌について聞いたことがあると思います。2005年にはマーシャルとウォーレンという医師がこのピロリ菌の研究でノーベル賞をもらいましたので、まだ記憶に新しいと思います。

ピロリ菌は胃にできる潰瘍や、胃炎の原因だけでなく、放射線や、たばこと同じくがんの原因として世界保健機構（WHO）が認めている細菌です。

ピロリ菌を持っていない人はそのために胃がんがほとんどできないとされています。またピロリ菌を持っている人でもお薬で退治すると、胃がんになる危険性が1/3～1/2に減ることがわかっています。

今まで、健康保険で認められるピロリ菌の治療対象は胃潰瘍などに限られていましたが、今年2月からピロリ菌感染による胃炎にも保険が適用されることになりました。このためピロリ菌の除菌治療を受ける人が増えれば胃がんは20～30年後の将来は急激に減っていくと思われます。

しかし、日本人の40代では半数以上、特に50代以上からは8割ぐらいの人がピロリ菌に感染していて、全国的には3500万人以上がピロリ菌を持っているとされているため、しばらくはピロリ菌の治療で胃がんを予防していくことが必要です。また、ピロリ菌を持っている人とピロリ菌は治療で消えたけど持っていた人は1年に1回は胃カメラで、胃がんができていないかを調べる必要があります。そうして見つかった胃がんは胃を切り取らずに、カメラで治療できることが多くなっています。

ピロリ菌感染が気になる人は、ピロリ菌の検査や除菌治療が必要かどうか、まず、かかりつけ医や病院でよく相談されることをおすすめします。